

【紹介】

群馬県立自然史博物館第16回企画展 『ことばで遊ぶミュージアム』の紹介

The introduction of the 16th Planning Exhibition
“Playing Words in the Museum” at the GUNMA MUSEUM
of NATURAL HISTORY

江原 岳 志*
Takeshi EBARA

1. はじめに
2. 展示内容
 - (1) 「プロローグ」
 - (2) 「ことばの図鑑」
 - (3) 「クイズでGO！」
 - (4) 「ああかんちがい」
 - (5) 「不自然なアートたち」
3. 企画展開催の背景
4. まとめ

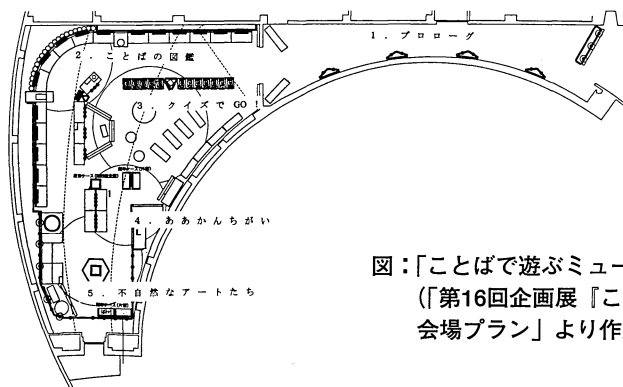
1. はじめに

群馬県立自然史博物館において2002年3月9日～5月12日まで開催された企画展『ことばで遊ぶミュージアム』について紹介する。

本企画展は、慣用句やことわざといった、本来実体を持たない「ことば」を、資料の組合せによって実体化させ、展示したものである。以下はその内容である。

2. 展示内容 (図・表)

『ことばで遊ぶミュージアム』は、「プロローグ」「ことばの図鑑」「クイズでGO!」「ああかんちがい」



図：「ことばで遊ぶミュージアム」展示会場図
（「第16回企画展『ことばで遊ぶミュージアム』
会場プラン」より作成：小久保博志氏提供）

表：「ことばで遊ぶミュージアム」展示項目

(「第16回企画展『ことばで遊ぶミュージアム』企画書」より作成：小久保博志氏提供)

展示シナリオ

コーナー	No.	タイトル	付帯	アイテム	形態	SUB	備考
プロローグ				野外掲示	グラフィック		
				屋内掲示	グラフィック		
				メインサイン	造作		
				フロアサイン	造作		
	1	おじさん	○	オジサン	刺製		
	2	おけら	○	ケラ・ヒミズ	刺製・液浸		
	3	壁に耳あり	○	耳	複製	手紙	
	4	壁の花	○	ウォールフラワー	乾燥標本		
	5	どんぐりの背比べ	○	ドングリ各種	乾燥標本		
6	この葉で遊ぶミュージアム		葉標本6種	葉標本			
ことばの図鑑	7	私が煮つけた自然薯		写真6点	写真		
	8	光陰矢のごとし		光演出装置	装置		
	9	こまいぬ?		ライオン2体	刺製		
				コーナーサイン	グラフィック		
	10	青い鳥		オオルリ・カワセミ	刺製	鳥かご	
	11	あぶはちとらす	○	ハナアブ・ミツハチ・トラカミキリ	展翅標本	標本箱	
	12	あわびの片思い	○	アワビ・ベゴニア	実物・生体		
	13	石頭		黒加影石	実物		※丸尾康弘氏借用
	14	いもを洗うような	○	サトイモ	凍結乾燥	桶	
	15	うなぎのぼり	○	ウナギ	生体	水槽・のぼり	
	16	うり二つ	○	ウリ科4種	生体	ウリ4種	
	17	馬の骨		ウマ骨化石	実物		
	18	えびで鯛を釣る		エビ・タイ	刺製	釣竿	
	19	かえるの面に	○	アフリカツメガエル	生体	水槽・小便小僧	
	20	かへのよこばい		カニ・妙義山写真	刺製・グラフィック	チェン	
	21	かまいたち	○	イタチ	刺製	鎌	
	22	がまぐち		ガマガエル	刺製	財布	
	23	かもねぎ		カモ・ネギ	刺製・凍乾		
	24	からすの行水	○	カラス	刺製	金タイ	
	25	きつねとためぎ	○	キツネ・タヌキ	刺製	マット(赤・緑)	
	26	木に竹をつく		トウゼン・ハンゾー	生体		
	27	金魚のふん	○	琉金	生体	水槽	
	28	くらがりから牛		ハクワロ・頭	刺製	暗箱box	
	29	げいげじまゆ		ゲジ	乾燥標本	人類模型	
	30	流石		宝石(水晶・紫水晶・猫目石・翡翠など)	実物・装置		
	31	さめ肌	○	サメ刺製	刺製	もち・おろし板	
	32	さるにえぼし		ニホンザル	刺製	烏帽子	
	33	さるも木から落ちる		ニホンザル・樹幹標本	刺製	包帯	
	34	山椒は小粒でピリと辛い		サンショウ種子	実物	皿	
	35	すずめの涙		スズメ	刺製	ガラス玉	
	36	象牙の塔		アフリカゾウ牙	実物	台	※小倉真太郎氏借用
	37	高嶺の花	○	幼ネジガマ・ネハハナユキウキ等7種	レプリカ		
	38	たかのつめ		オオタカ・トウガラシ	刺製		
	39	猪突猛進		イノシシ	刺製・装置		
	40	蛇足	○	ニシキヘビ皮・痕跡枝写真	実物・グラフィック		
	41	夢食う虫も好き好き	○	ヤナキ好・昆虫	さく葉・展翅	ドイト箱	
	42	ためぎ撲入り		タヌキ	刺製	幼児用毛布	
	43	玉虫色	○	タマシ36種	展翅標本	ドイト箱	
	44	月とスッポン		スッポン・月写真	刺製・グラフィック		
	45	出題目		タラ	刺製	サイコロ	
	46	饅頭の差	○	カマキリ	展翅標本	実体顕微鏡	
	47	濡れ手にあわ		アワ	実物	ヒトヘアリカ	
	48	根も葉もない?		エアランツ各種	生体		
	49	葉書		トチノキ等の葉	さく葉標本	切手	
	50	白鳥の歌		コハクチョウ	骨格・装置	音響装置	
	51	まな板の上の鯉		コイ	刺製	まな板	
52	目白押し		メジロ(5)	刺製	止まり木		
53	もめげのから	○	ヘビ&セミの抜け殻	乾燥標本	ドイト箱		
54	やぶへび		シマヘビ・アオダイショウ	刺製・ジオ	やぶジオラマ		
55	闇夜のからす		カラス	刺製・装置	暗箱box		
56	るりもはりも照らせば光る		ラズライト・水晶	装置			
57	英語のことわざ		小コーナーサイン	造作			
58	家庭内の秘密		ヒト全身骨格	骨格標本	骨董戸棚		
59	顔は友を呼ぶ	○	ムクドリ(6)	刺製			
60	案ずるより産むがやすし		ヒバリ	刺製	空グラフィック		
61	とらぬ狸の皮算用	○	狸	乾燥標本	バスケット		
62	ワニの空涙		ワニ	刺製	ビー玉		
63	一寸の虫にも五分の魂		約3cmのガガンボ	展翅標本	ドイト箱・寸尺		
64	自然史用語の基礎知識		小コーナーサイン	造作			
65	生きている化石		カブトガニ	実物・装置			
66	羽化		カトムシ・ハチ等飛翔昆虫・幼虫	展翅標本			
67	ウの目カカ目		ウミ・ハブサト・ヒ・オオカ	刺製			
68	試金石	○	粘板岩	実物			
69	冬虫夏草		カボタケ・カムシタケ等	液浸標本		※堀内誠示氏借用	
70	風化		隕石・三稜石・雷管石・雨の化石	実物	扇風機		
クイズでgo!	71	クイズでgo!		コーナーサイン・クイズbox×8個	グラフィック&装置		
	69	君の名は①(○○○ガ)		スズメ	展翅・刺製		
	70	君の名は②(○○○ガイ)		カラスガイ・カラス	生体・刺製		
	71	君の名は③(○○○ムシ)		カトムシ・かぶと	液浸・実物		

展示シナリオ

クイズでgo!	72	君の名は④(○○○ガエル)	カシカエル・カシカ	凍乾・剥製	
	73	君の名は⑤(○○ノコシカケ)	サルノシカケ・ニホザル	凍乾・剥製	
	74	君の名は⑥(○○○コウモリ)	ウサギコウモリ・ウサギ	剥製	
	75	君の名は⑦(カニ○○○○)	オオニウミウサギ・キガシラコウモリ	アクリル・剥製	
	76	君の名は⑧(砂漠の○○)	砂漠のバラ・バラ	実物・レプリカ	
	77	それは私です①(海)	カイン・スポンジ・ヘチマ・軽石・ウツ	実物	
	78	それは私です②(節足)	ムシデ・キスデ・コカイ・ウツクシムシ・オウツクシムシ	乾燥標本	
	79	それは私です③(昆虫)	ウスバカゲロウ・カゲロウ・ウツクシムシ・イトシホ・アゲハ	展翅標本	
	80	それは私です④(トゲ)	ハリネズミ・ハリネズミ・クリ・サボテン・ウニ	剥製・実物	
	81	それは私です⑤(鳥類)	ヒヨドリ・ヒヨドリ・ウツクシムシ・ウツクシムシ	剥製	
	82	それは私です⑥(頭骨)	ウツクシムシ・コビトウ・コンドル・チンパンジー・キツネ	レプリカ	
	83	それは私です⑦(種子)	宇宙コマツ・アルビストラ・オナモミ・カエデ・ハス	実物	
	84	それは私です⑧(アクリル)	ウツクシムシ・マシガサ・ネトキス・オウツクシムシ	アクリル標本	
	85	全員集合①(同じ穴のむじな)	タヌキ・アナグマ	剥製	U字溝
	86	全員集合②(えとせとら)	ネズミ・イノシシ骨格12点	骨格標本	
	87	全員集合③(群馬のK)	コンニク・キノコムギ・カキ	実物	
	88	全員集合④(花札)	サトウ・カエル・チョウ・イノシシ・ウグイス等	実物	
	ああかんちがい		ああかんちがい	コーナーサイン	グラフィック
89		アカハラのトナカイ	アカハラ・カリブー	剥製	
90		ひょうたんからコマドリ	ひょうたん・コマドリ	乾燥・剥製	※ぐんま愛ひょう会 借用
91		密室のコイ	コイ	剥製	茶箱
92		ウツから出たマコモ	ウツ・マコモ	実物・グラフィック	
93		小悪魔(こあくま)	ツキノフグマ	実物・模型	クマめいぐるみ ※宮下喜美子氏 借用
94		トラの衣を借るキツネ	キツネ	剥製	応援グッズ
95		反骨精神	ネコ骨格	骨格標本	
96		めくじらを立てる	○ クジラ頭骨	骨格標本	
97		ケンもほろほろ	○ キジ・ホロホロチョウ	剥製	
98		ツミとバス	ツミ・オオクチバス	剥製	文庫本
99		アビ教官	アビ・カイツブリ	剥製	ネコタイランドセル
100		ケリをつける	タゲリ	剥製	借用书
101		ネコにまたたび	ネコ・キウイ	剥製	鈴・キウイ
102		頭の黒いねずみ	ハリネズミ	剥製	
103		一石二鳥	マラカイト・ウジャクチョウ(2)	実物	
104		胃の中のかわず	ヤマカガシ・アマガエル	凍結乾燥	
105		サバを揉む	マサバ	剥製	
106	しゃくの種類	シヤクワ種子	実物		
107	トカゲ	トカゲ	剥製	レゴの家	
不自然なアートたち		不自然なアートたち	コーナーサイン	グラフィック	
	108	コウモリ	キクガシラコウモリ(12)	剥製	傘多数
	109	鏡=鏡	クロハエ(多数)	展翅標本	ロープ
	110	海藻シーン	各種海藻	ざく葉標本	写真
	111	コレクション	ウスバコウモリ(ドイツ箱24箱)	展翅標本	
	112	周期律表	野菜周期律表	グラフィック	
	113	森林浴	薬(ケツクシムシ・ウスバ)	実物	プール
	114	キッチン1:キッチン	サワガニ・ザリガニ	乾燥標本	皿
	115	キッチン2:フライパン	チョウ・ホタル	展翅標本	フライパン
	116	キッチン3:フタアブー	アユ	剥製	ラップ・湯飲
	117	キッチン4:ドンブリ	ホウキワ種子	実物	ドンブリ・箸
	118	キッチン5:エッグアラト	卵・ナス	模型	ミキサー
	119	キッチン6:かめの中には	カメ	骨格標本	鏡
	120	クモをつかむような箱	タランチュラ	展翅標本	
	121	オタマジャクシ	カエル幼生	アクリル	五線紙
	122	たこに耳ができる	タコ	液浸標本	扇
	123	ナマコ	ナマコ	複製	なまこ板
	124	イモムシ	サツマイモ	凍結乾燥	
	125	スケルトン	イノシシ骨格	骨格標本	カッパ
	126	照相機	異型巻アンモナイト	実物	掃除機
	127	Beo球機関	ニホンミツバチ	展翅標本	
	128	マウス	ハツカネズミ	凍結乾燥	Mac
	129	レモン寂香	レモン・レモンガラス・レモン・ハム	乾燥標本	
	130	スーパーきこの	ベニテグタ拡大模型	模型	フタコン・缶
	131	月に吠える	オオカミ・月写真	剥製・グラフィック	
	132	考える草	ヨシ	実物	
	133	人魚の家	マナティ頭骨	レプリカ	犬小屋
	134	星に願いを	イトマキヒトデ	実物・装置	蛍光装置
135	疑態?	コノハチョウ・ナナフシ	展翅標本		
136	石窓?	サメの歯・石窓	実物		
137	アクセサリー	エサキモンキツノカメムシ	展翅標本	ペンタゴ	
138	ダイズ	ダイズ	乾燥標本	アクリルキューブ	
139	パールのようなもの	オパール・真珠	実物	パール	
140	花より泥だんご	泥だんご・花アクリル標本	実物		
141	ガラスウリ	○ ガラス	グラフィック	ガラス加工	
142	鏡の国のアリス	アリの巣	生体	鏡3枚	
143	箱入り	フコウエギ模型全種(1~120)	模型		
144	メジロのサンマ	サンマ(3)・メジロ	凍結乾燥		
145	金のわらじ・銀のわらじ	イネ	凍結乾燥	わらじ着色	

* ほぼ模型展示

「不自然なアートたち」、以上5つのテーマによって構成されている。展示項目数は5つのテーマの合計で144項目。展示資料点数は2000点以上である。

なお、展示会場の間取り、および展示項目については図・表を参照していただきたい。

(1) 「プロローグ」

「プロローグ」では、企画展示室へ向かう通路が展示場所とされており、通路の壁にははめ込みケースが備えられている。そこには模型の人の耳を入れた「壁に耳あり」や、「壁の花」と呼ばれる花の種子が入った袋などが展示されている。そして、企画展示室入り口には2頭のつがいのライオンが向かい合って「こまいぬ」という展示となっている。

また、通路の床には「All work and no play makes Jack a dull boy. (筆者注：『よく学びよく遊べ』の意味)」と書かれている。

(2) 「ことばの図鑑」

「ことばの図鑑」は、慣用句、固有名詞、ことわざを展示の題材としている。

例えば、イタチの剥製標本に鎌を持たせて「かまいたち」、キツネとタヌキの剥製標本をそれぞれ赤と緑の敷物の上に並べて「きつねとたぬき」(カップ麺とかけている/写真1)、カラスの剥製標本を金ダライに入れて「からすの行水」といった具合である。



写真1: 「きつねとたぬき」

*きつねは赤、タヌキは緑の敷物の上に設置されている。

(3) 「クイズでGO！」(写真2)

「クイズでGO！」はワークショップ形式のクイズである。答えとして標本を見せるものと、並んだいくつかの標本から答えを探すものの2種類に分けることができる。双方のクイズとも、また、はずれた場合であっても、その標本についての情報は提示される仕組みとなっている。

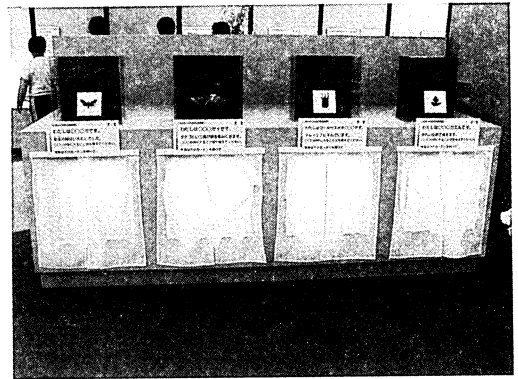


写真2: 「クイズでGO！」における展示状況

*上段が「問題」、下段のカーテンの中に「答え」がある。

(4) 「ああかんちがい」

「ああかんちがい」はいわゆる「だじゃれ」を題材とした展示である。ことわざや本や歌の名前、固有名詞等を「だじゃれ」の題材としている。

例えばディベア等の熊のぬいぐるみの中心(コ



写真3: 「トラの衣を借りキツネ」

*「衣」は原文そのまま。解説パネルに従った。

ア)に熊の剥製標本を配置して「小悪魔(筆者注: コアくま)」、阪神タイガースのユニフォームを着せたキツネの剥製標本で「トラの衣を借るキツネ」(写真3)、ツミという鳥の剥製標本と、ブラックバスの標本を並べて「ツミとバス(筆者注: ドストエフスキー『罪と罰』より)」等がある。

(5) 「不自然なアートたち」

「不自然なアートたち」は、ことわざ、慣用句、パロディ、そしてだじゃれを題材とした当館創作の芸術作品が展示されている。

球体の表面にハチ(Bee)の標本を付着させて、人がその前を通過するとセンサーが反応して回転する「Bee球機関(筆者注: 19世紀に否定された『永久(=A球)機関』のパロディ)」(写真4)、葦で作った人形をロダン作「考える人」のポーズを付けさせて「考える葦(筆者注: パスカルの「人は考える葦である」という名言のパロディ)」等がある。



写真4: 「Bee球機関」

*光センサーが組み込まれており、反応すると球体が回転する。

3. 企画展開催の背景

本企画展を担当した群馬県立自然史博物館の小久保博志は、開催の理由を以下の疑問点を解決するためであるとしている¹⁾。

①なぜ、ほとんどのお客さんは、大きな展示物

・珍しい展示物にしか目が行かないのか。

②なぜ、ほとんどのお客さんは、解説パネルを読まないのか

③なぜ、博物館は、子供ばかりを相手にしようとするのか。

そして小久保の出した①に対する答えは、サルやキツネ、タヌキ、カラス、スズメ、ネコといった比較的珍しくない動物の剥製や、その他の当館所蔵の資料を、本企画展のテーマである「ことば」を介して組み合わせることで面白みを持たせることであった。

②に対しては、学術用語や抽象的な言葉を解説パネルから極力排除して、「展示物に即した内容の文章」にすることで対処した。また、展示物に合わせたイラストも文章と共にパネルに加えられている。これも解決策の一つである。

解説パネルの文章の一例を示す²⁾。

例: 「トラの衣を借るキツネ」

正しいことばは「トラの威を借るキツネ」。力のある人や組織を後ろだてにして、それをかさに着て威張る人のことをいいます。「オレのアニキは、〇〇なんだぜえ」のように。

*さて、一方こちらのキツネ「虎の威」になるかどうかは、虎の活躍次第?

③については、むしろ子供を連れてきた大人(両親や祖父母等)が楽しめるような内容を取り込むことで対応した。

例えば、先に取りあげた「ツミとバス」は、ドストエフスキーの『罪と罰』を知っている大人が楽しむことができるように考えられた展示である。

以上のように3つの疑問点を解決する過程において本企画展、「ことばで遊ぶミュージアム」が生み出されたのである。

4. まとめ

『ことばで遊ぶミュージアム』は「ことば」という実体を持たない存在を、資料を組み合わせることでより仮の実体を与え、展示したことが特徴である。

従来の博物館展示では、実物資料の展示が原則で

ある。その一方、確かに実物資料ではない模造品（レプリカ）や模型資料を用いた展示もある。しかし、これらの資料は実物資料を基にして制作されたものである。

このように実物ではない仮のモノをもって展示するという点において、従来の実物資料、そして実物資料を基に制作された模造品（レプリカ）・模型を展示してきた展示とは異なっているのである。

本企画展はこうした展示方法もあるという一例を提示したものであった。

謝辞

本稿を執筆するに当たって、群馬県立自然史博物館の長谷川善和館長、小久保博志学芸員の両氏には、お忙しい中、関係資料の提供と未発表資料の使用許可の為に骨を折っていただきました上に、本稿に就いてのご指導まで頂きました。心よりの感謝の意を示したいと思います。

また、國學院大學大学院生の松崎相氏には日本文学の立場からご助言と資料を頂きました。この場をお借りして深くお礼を申し上げる次第であります。

参考文献

1) 小久保博志氏からご教示と、本企画展に関する諸資料の提供を頂いた。

以下はその資料名である。

- ① 第16回企画展「ことばで遊ぶミュージアム」企画書
- ② 会場及び展示品リスト／列品イメージ
- ③ 第16回企画展「言葉で遊ぶミュージアム」工程表（印刷物関係）
- ④ 「ことばで遊ぶミュージアム」解説文全23頁
- ⑤ 第16回企画展「ことばで遊ぶミュージアム」クレーム対応マニュアル
- ⑥ 「ことばで遊ぶミュージアム」解説研修資料

2) 前掲1) ④から。